



意見募集の結果概要

平成16年7月

(1) 意見募集対象

セカンドステージのITSの方向性について

(2) 意見集計結果

意見募集の結果、57名より165件の意見をいただいた。また、シンポジウムにおいて実施したアンケート(無記名方式)では、88名の方から回答をいただいた。

意見の集計結果内訳

企業	15名	55件
大学	8名	40件
団体	17名	39件
NPO	5名	14件
個人	10名	14件
自治体	2名	3件

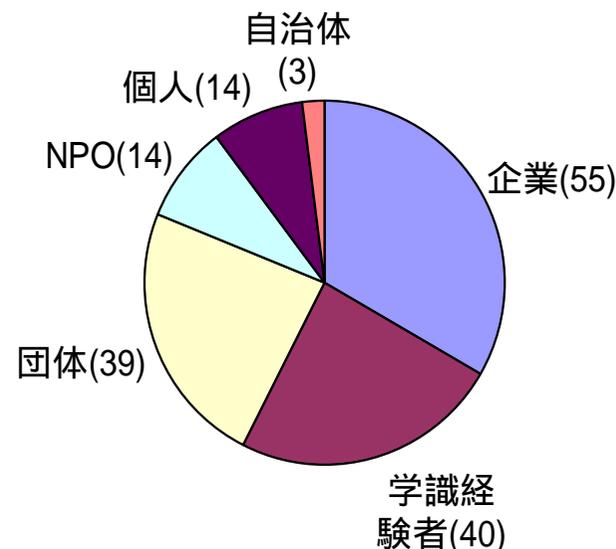


図 意見募集において意見を下さった方の内訳
カッコ内は意見の数

全体について

- ・具体的な施策や目標年次、プログラムの概略を示す必要がある。
- ・様々な地域社会に対応したスマートウェイの在り方等の議論が必要である。
- ・歩行者やお年寄りなどの多様な利用者への配慮が重要。
- ・システム化により街の温もりが無視される懸念がある。
- ・セカンドステージの実現より先に、ファーストステージの普及や改良が必要。
- ・研究や社会実験段階から脱し、早期実用化に向けたモデル事業、パイロットプロジェクトの実施を望む。
- ・関連省庁や産学官の協調・連携強化が必要。

サービスについて

- ・地域再生に貢献する公共システム(バス輸送等)の推進に期待。
- ・駐車場、ガソリンスタンド、ドライブスルーなどでの民間サービスを期待。
- ・道路有効利用のために、路上工事の効率化や路上駐車管理が重要。
- ・需要にあわせたインフラ側の対応も効果的。
- ・歩行者支援についてもサービスの検討が必要。
- ・導入場所や条件によっては、利便性を追求することが最優先とはならない。
- ・路車協調による走行支援システムの実用化に期待。

プラットフォームについて

- ・ITS車載器・DSRC路側機の仕様の早期決定や認定制度が必要。
- ・既に民間として規格策定に取り組んでいる分野もあり、マルチ車載器の仕様策定にあたっては官民の連携を希望。
- ・車両の持つ様々な情報が、ドライブレコーダー等により容易に取得できている。これらのデータを有効活用し、安全運転に役立てて欲しい。
- ・ドライバーへ配信する情報の内容、提携方法について、安全性、倫理等の観点から運用上のルールも官民で定めていく必要がある。

相互協力と協調について

- ・地域のニーズ・意見を踏まえた、地域独自のサービスの実施が必要。
- ・地域に根付いているNPO等と連携したITSの推進を望む。
- ・利用者などの生の声を政策提言に反映していく仕組み作りが必要。
- ・アジア太平洋地域も意識した交流を継続的に積み上げるべき。
- ・高齢者でも十分理解できるシステムとする必要。
- ・全体的に都市部のイメージが強い。地方部への展開へも配慮が必要。
- ・ITSにより生活・社会がどのように変わるのか、分かりやすく国民に説明することが必要。